

今回の被災等を踏まえた課題・論点

今回の被災等を踏まえた課題・論点

分野	主な被害等
橋梁	橋梁の被災による通行止め等が発生
	特殊な構造(ロッキング橋脚)を有する橋梁の落橋が発生 (例: 府領第一橋)
	地盤変状による橋台の沈下等が発生 (例: 熊本高森線)
	破壊されないよう設計されたゴム支承や制震ダンパーの取付部に損傷が発生(例: 南阿蘇橋)
	・一部の周期帯でレベル2地震動の設計スペクトルを超過 ・熊本は地震動を低減させる地域(地域補正係数0.85)
土工	集水地形上の盛土や水辺に隣接する箇所に構築した盛土が崩壊する事例が発生(例: 国道443号、益城バスストップ)
	落石・岩盤崩壊等が発生(例: 国道445号)
	液状化によると考えられる占用物件等の変状や路面陥没が多数発生(例: 益城町)
トンネル	トンネルの被害は限定的だが、覆工コンクリートの崩落、盤ぶくれ等の発生事例が存在(例: 俵山トンネル)



課題・論点
兵庫県南部地震より前の基準を適用した橋梁における耐震補強等の効果の検証
ロッキング橋脚を有する橋梁の落橋から得られる教訓
地盤変状による被災から得られる教訓
設計意図と異なる壊れ方から得られる教訓
設計地震動、地域別補正係数の妥当性
集水地形上や水辺に隣接する盛土等の被災から得られる教訓
落石・岩盤崩壊等による被災から得られる教訓
液状化による変状から得られる教訓
覆工コンクリートの崩落から得られる教訓